

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【公開番号】特開 2017-3991 (P2017-3991A)  
【公開日】平成 29 年 1 月 5 日 (2017.1.5)  
【年通号数】公開・登録公報 2017-001  
【出願番号】特願 2016-115940 (P2016-115940)  
【国際特許分類】

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 7/04

【誤訳訂正書】  
【提出日】令和 2 年 5 月 22 日 (2020.5.22)  
【誤訳訂正 1】  
【訂正対象書類名】明細書  
【訂正対象項目名】0 0 3 3  
【訂正方法】変更  
【訂正の内容】  
【0 0 3 3】

図 4 は、それぞれが異なる安定化度を有する（が、円柱矯正は一切ない）図 1 A ~ 図 1 C に示されるレンズデザインなどの 3 つのレンズデザインのように回転不安定性のインビボの臨床測定値からのデータを示すグラフである。これらの安定化デザインは、高円柱矯正に対する安定化ゾーンにおける最大厚み差（すなわち、100%）、及びその最大厚み差の選択された割合（すなわち、50%、70%）を有するレンズに対応している。特定の実施形態において、安定化ゾーンの厚さは、最大厚み差の 30% ~ 95%、例えば 50% ~ 80%であってもよい。特定の実施形態において、最大厚み差は、0.1 mm ~ 0.5 mm、例えば、0.15 mm ~ 0.4 mm の範囲内であってもよい。